



御家流香三十組包形 花

『御家流組香三十組索引(雪)』『御家流組香古中新三十組』

『御家流香三十組盤立物(月)』

『御家流香三十組包形(花)』

三卷 三冊のうち一卷 一冊 元本

飯田政宣、小野朝登、伊與田勝由、伊藤辰芳 伝

東北大学附属図書館 狩野文庫蔵

惣包小包雛形

古十組惣包小包

一 表絹地、金散し極彩色、裏布目金なり。

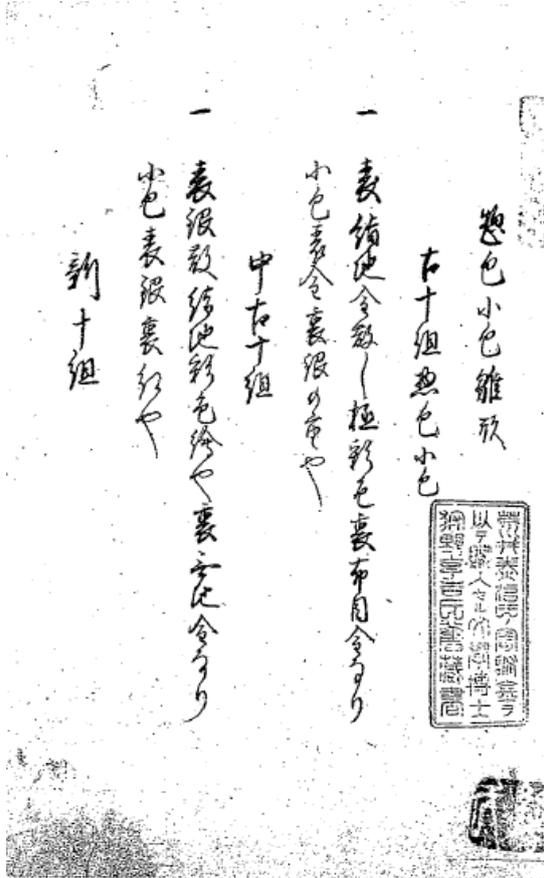
小包、表金、裏銀の重ねなり。

中古十組

一 表銀散し絹地彩色絵なり。裏無地金なり。

小包表銀、裏紅なり

新十組



一 表絹地無地銀彩色絵なり。裏無地銀なり。
 小包白紙、裏重ね紅なり。
 一 極秘「連理香」惣包、小包、異なる書に委し。ここに略す。
 一 諸組香、其品に寄りて惣包、小包模様其の勘在るべし。品多
 ければ残らざるなり。
 一 稽古惣包、小包とも定れる法なければ工夫して撰ぶべし。
 寸法等は、本式に順うべし。
 一 当流三十組模様、地に残りて絵組、雛形別に在るなり。

惣包古十組

一 十炷香 紫宸殿の絵
 一 花月香 桜月の絵
 一 宇治山香 宇治山川景色
 一 小鳥香 小鳥 色々
 一 郭公香 雨に郭公の絵
 一 小草香 小草 色々
 一 系図香 系図散し
 一 源平香 白赤旗の絵
 一 焚合十炷香 鴛鴦雌雄絵
 一 鳥合香 短冊三枝三鳥の歌

一 十炷香 紫宸殿の絵
 一 花月香 桜月の絵
 一 宇治山香 宇治山川景色
 一 小鳥香 小鳥 色々
 一 郭公香 雨に郭公の絵
 一 小草香 小草 色々
 一 系図香 系図散し
 一 源平香 白赤旗の絵
 一 焚合十炷香 鴛鴦雌雄絵
 一 鳥合香 短冊三枝三鳥の歌

中古十組惣包

- 名所香
- 源氏香
- 競馬香
- 三炷香
- 夫教香
- 草木香
- 舞樂香
- 源氏四町香
- 住吉香
- 煙争香

新十組惣包

- 花軍香
- 古今香
- 吳越香
- 三夕香
- 蹴鞠香
- 鷺香
- 六儀香
- 星合香
- 闘鶏香
- 焚合花月香

中古十組惣包

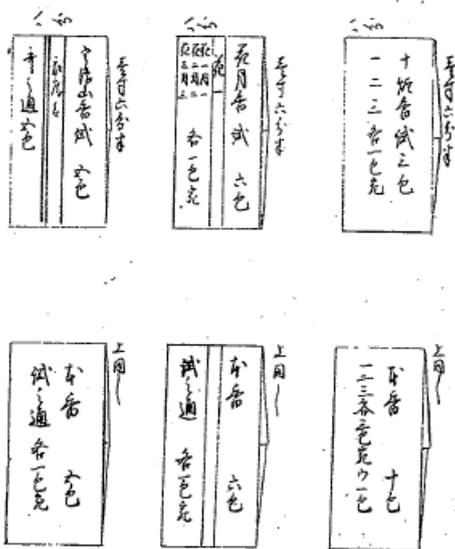
- 名所香
- 源氏香
- 競馬香
- 三炷香
- 矢数香
- 草木香
- 舞樂香
- 源氏四町香
- 住吉香
- 煙争香

新十組惣包

- 花軍香
- 古今香
- 吳越香
- 三夕香
- 蹴鞠香
- 鷺香
- 六儀香
- 星合香
- 闘鶏香
- 焚合花月香

- 桜楓模様
- 香図志のぶ
- 赤黒馬人形
- 三炷図散し
- 宗弓の絵
- 草木の絵
- 楽器の絵
- 御簾官女の絵
- 橋鳥居松の絵
- 富士浅間山の絵

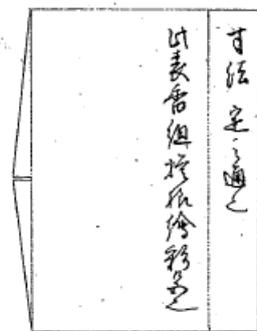
- 梅桜の絵
- 流水散花
- 馬上甲冑人形
- 三夕の内
- 四木鞠の絵
- 梅鷺
- 松神鳥居玉垣
- 七夕の絵
- 白黒鶏のうちは(団扇)
- 散花三ヶ月(みかづき)



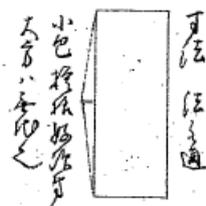
古十組

小包雛形

たの如し



小包折形



小包折形

惣包折形

〔図〕

寸法 定めの通りなり

此の表、香組模様、絵彩色なり。

小包折形

寸法 法の通り

〔図〕

小包模様、好みに次第

大方は無地なり。

古十組 小包雛形 左の如し。

長寸六分半、短寸八分(※以外は同じ)

十炷香 試 三包

一、二、三 各三包ずつ

本香 十包

一、二、三 各三包ずつウ一包

花月香 試 六包

花一、花二、花三

月一、月二、月三 各一包ずつ

本香 六包

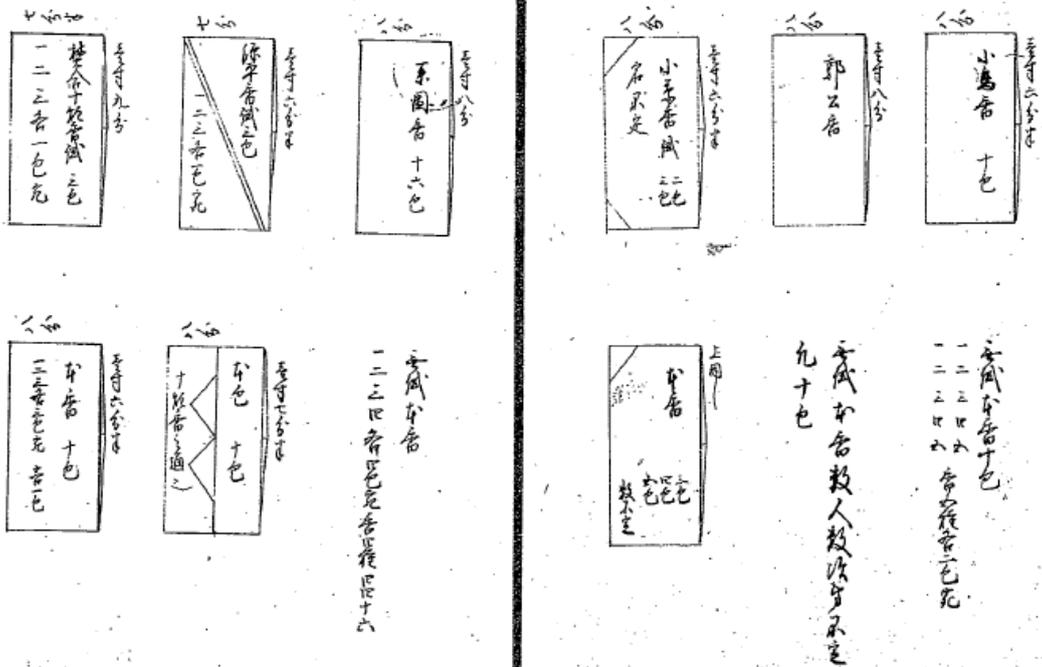
試の通り各一包ずつ

宇治山香 試 五包

歌の通り 五包

本香 五包

試の通り各一包ずつ



小鳥香 十包

無試 本香十包
一、二、三、四、五
一、二、三、四、五

郭公香

香五種 各二包
無試 香数人数次第、定まらず。
凡そ十包

小草香 試 二包、三包
名、定まらず。

本香 三包、四包、五包
数、定まらず。

系図香 十六包

無試 本香
一、二、三、四 各四包ずつ
香四種 四四十六

源平香 試 三包

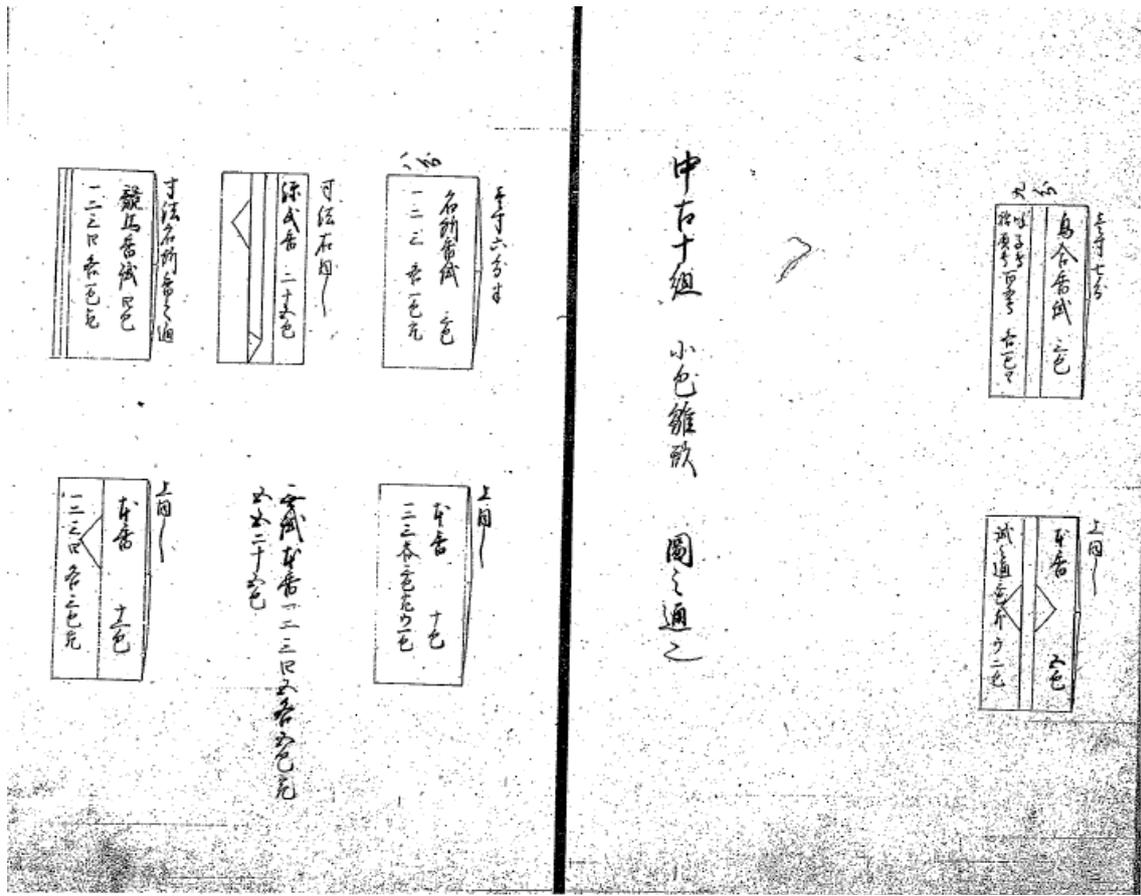
本香 十包
十炷香の通りなり。

(※短寸七分)

焚合十炷香 試 三包

本香 十包
一、二、三 各三包ずつ 客 一包

(※短寸七分)



鳥合香試 三包
呼子鳥、稻負鳥、百千鳥

本香 五包
試の通り二包ずつ

中古十組 小包雛歌 圖の通り

名所香試 三包
一、二、三 各一包ずつ

本香 十包
一、二、三 各三包ずつウ一包

源氏香 二十五包

無試 本香一、二、三、四、五
各五包ずつ
五五二十五包

競馬香試 四包
一、二、三、四 各一包ずつ

本香 十二包
一、二、三、四 各三包ずつ

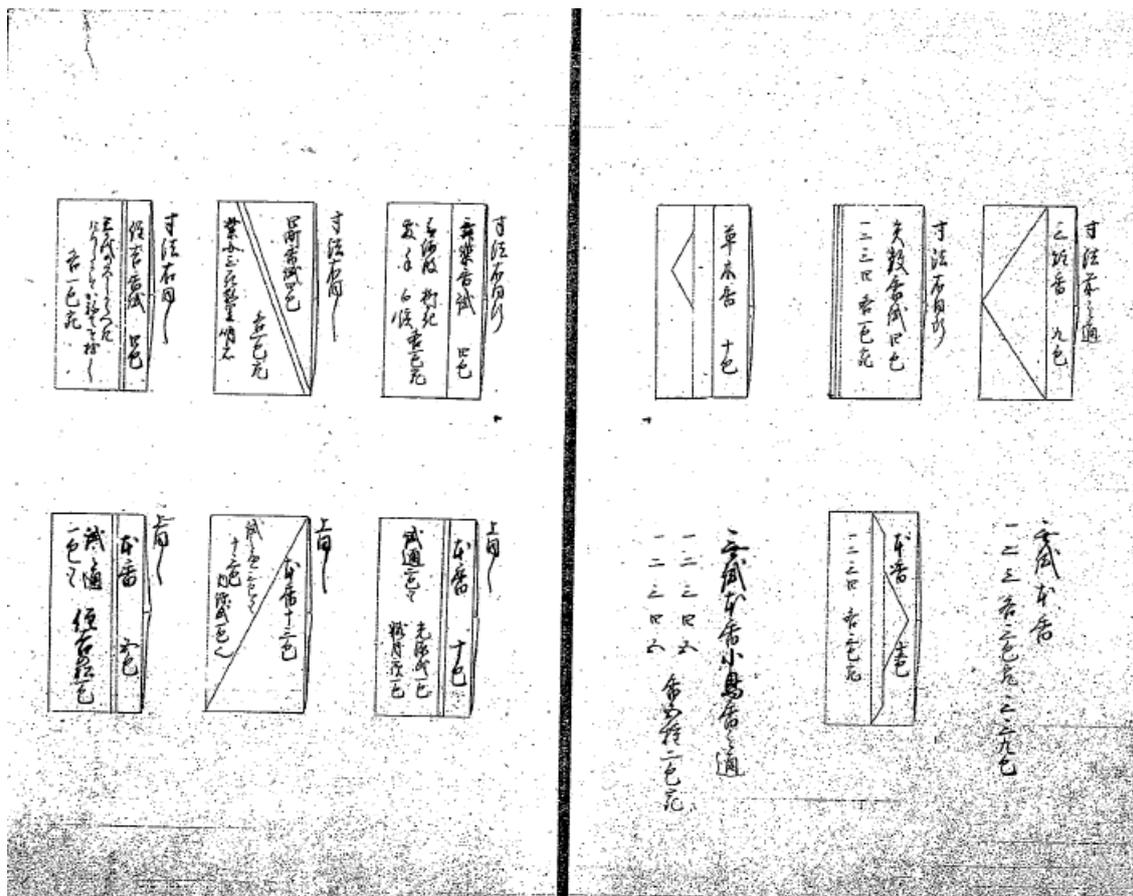
鳥合香 試 三包
本香 五包
呼子鳥、稻負鳥、百千鳥
試の通り二包ずつ
各一包ずつ
ほか、ウ二包
(※短寸九分)

中古十組 小包雛形 圖の通りなり。

名所香 試 三包
本香 十包
一、二、三 各一包ずつ
一、二、三 各三包ずつウ一包

源氏香 二十五包
無試 本香一、二、三、四、五
各五包ずつ
五五二十五包

競馬香 試 四包
本香 十二包
一、二、三、四 各一包ずつ
一、二、三、四 各三包ずつ



三炷香 九包

無試 本香

一、二、三 各一包ずつ 三三九包

矢数香 試 四包

本香 十二包

一、二、三、四 各一包ずつ

一、二、三、四 各三包ずつ

草木香 十包

無試 本香 小鳥香の通り

一、二、三、四、五

一、二、三、四、五

香五種 二包ずつ

寸法 五寸

舞楽香試 四包

青海波、柳花苑、
敷手、白濱 各一包ずつ

寸法 五寸

源氏四町香 試 四包

紫上、女三、花散里、明石
各一包ずつ

寸法 五寸

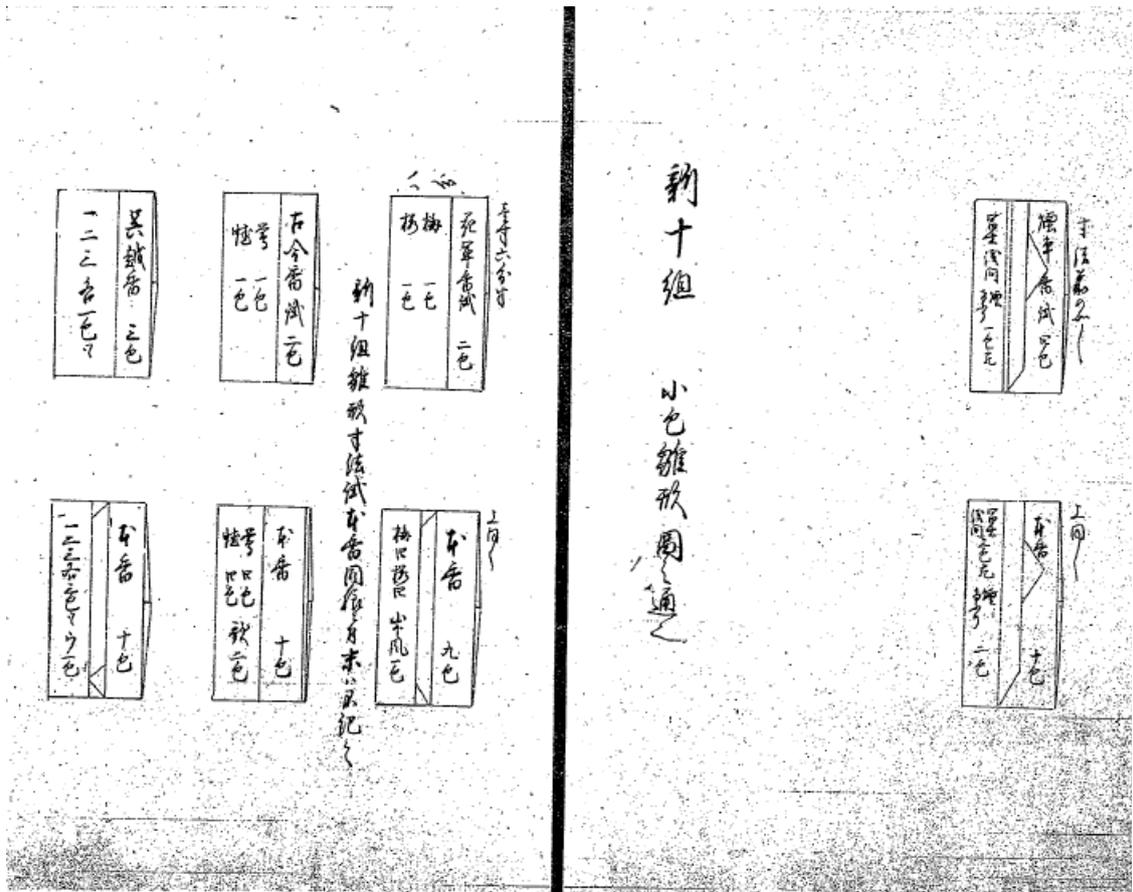
住吉香 試 四包

君が代の、久しかるべき
ためしには、兼てぞうえし

寸法 五寸

住吉の松 一包

各一包ずつ



手は箱2
標準香試 二包
星間同煙 二包

上同
本香 十包
同色尾端 二包

手は箱2
花軍香試 二包
梅 一七

上同
本香 九包
梅四、桜四、山下風 一包

古今香試 二包
鶯 一包

本香 十包
鶯四包、蛙四包、歌二包

吳越香 試 三包
一、二、三 各一包ずつ

本香 十包
一、二、三 各三包ずつウ 一包

新十組 小包雛形 図の通り

煙争香 試 四包
富士、浅間、烟、けぶり
一包ずつ
本香 十包
富士、浅間 三包ずつ
烟、けぶり 二包ずつ

新十組 小包雛形 図の通りなり。

花軍香 試 二包
梅 一包、桜 一包
本香 九包
梅 四、桜 四、山下風 一包

新十組雛形寸法、試、本香、同様、これより末は記さず。

古今香 試 二包
鶯 一包、蛙 一包
本香 十包
鶯 四包、蛙 四包、歌 二包

吳越香 試 三包
一、二、三 各一包ずつ
本香 十包
一、二、三 各三包ずつウ 一包

焚合花月香試 二包
花 二包 月 一包

本香 四包
花 二包 月 二包

以上

当流香合式、以客代招の組香可憐時と右三十組の内を以つて興業致す可き本意なり。客の望みに依りて外組、新組とも時宜に催すべし。

一 三十組の内、盤立物、惣包に順じ、三段の差別有るべし。及丈結構を○すを手柄とす。図式は別書に委し。

一 平日の席内、三十組炷く事免すと云うにはあらず。されども古十組は遠慮あるべし。十炷香は組香の○にして、門に入るの教え、初めより免あり。

一 当流組香の事は、古元として、その外、世に翫び行わるを集めて、先師の意を結びて法の組香、その師の働きを残す。

焚合花月香試 二包
本香 四包
花 一包、月 一包
花 二包
月 二包

以上

当流香合式を以つて客を招き、組香催す可き時は、右三十組の内を以つて興業致す可き本意なり。客の望みに依りて外組、新組とも

- 時宜に催すべし。
- 一 三十組の内、盤立物、惣包に順じ、三段の差別有るべし。及丈結構を○すを手柄とす。図式は別書に委し。
- 一 平日の席内、三十組炷く事免すと云うにはあらず。されども古十組は遠慮あるべし。十炷香は組香の○にして、門に入るの教え、初めより免あり。
- 一 当流組香の事は、古元として、その外、世に翫び行わるを集めて、先師の意を結びて法の組香、その師の働きを残す。

依て当流組香定まらぬなり

右組香式の事と香道の小口多くは口傳にして書籍
中流も授匠くかからん事と吾等も是流所在者也

以上

飯田政宣

小野朝登

伊與田勝由

伊藤辰芳

依つて当流組香定まれる数なし。

右組香式の事は、香道の小口、多くは口傳にして書籍
に少なし。口傳区々にならん事を憂て、是を記し置く者なり。

以上

飯田政宣

小野朝登(淳翁)

伊與田勝由 [在判]

伊藤辰芳(芹翠)

【参考】

『御家流組香三十組索引(雪・月・花)』は、御家流組香の基本となる三十組の口傳統一を意図した四名による共著であり、伊與田勝由から細谷助左衛門に伝授された識語がある。

【凡例】

- ① 句読点、「」、送り仮名等は適宜追記しました。
- ② 旧仮名使いを新仮名使いに適宜改めました。
- ③ 黒字の()は、本文内に小文字で記された注記です。
- ④ 青字の()は、筆者の補足です。
- ⑤ 赤字は、判読等に曖昧な点がある部分です。

令和二年十月

『香筵雅遊』國井和裕